

多核種除去設備（ALPS）におけるHICからの 吸着材とろ過水の混合物のオーバーフローおよび クロスフローフィルタAスキッドの漏えい警報発生について

< 参考資料 >
平成26年4月16日
東京電力株式会社

<概要>

発生日時：4月16日午後0時19分頃発見
同日午後1時24分停止

発生場所：ALPS建屋ジャバラハウス内（HIC設置エリア）

発見者：作業員

オーバーフロー範囲：約8m×約9m×深さ約10cm（ジャバラハウス内の堰内）

オーバーフロー水：吸着材とろ過水の混合物と推定

作業内容：多核種除去設備（ALPS）側の吸着塔から吸着材2用HICに、ろ過水を注入して吸着材を送り出す作業

発生状況：多核種除去設備（ALPS）において、高性能容器（HIC）からオーバーフローしていることを作業員が発見。多核種除去設備（ALPS）側の吸着塔から吸着材2用HICに、ろ過水を注入して吸着材を送り出す作業中、HICから吸着材とろ過水の混合物がオーバーフローしたものと推定。

その後、仮設移送ポンプを停止したことにより、オーバーフロー水が停止したことを確認。

なお、作業員の汚染および設備の損傷等の異常は確認されておらず、モニタリングポストおよびダストモニタの指示にも有意な変動はありません。

また、同日午後0時36分頃、多核種除去設備（ALPS）において、「クロスフローフィルタ（1）Aスキッド2近傍タメマス（2）漏えい」警報が発生。現在、当該警報の発生とオーバーフローの関係について確認中です。

雰囲気線量：表面線量率 70μm線量当量率（ベータ線） 0.2mSv/h
1cm線量当量率（ガンマ線） 0.008mSv/h
雰囲気線量率 70μm線量当量率（ベータ線） 0.3mSv/h
1cm線量当量率（ガンマ線） 0.03mSv/h

- 1 後段の吸着塔でストロンチウム吸着を阻害するイオン（マグネシウムやカルシウム等）の炭酸塩を除去するフィルタ
- 2 オーバーフローした水を集水する設備

<系統概略図>

B系列

